

## 第2回中学校統合準備委員会要点録

日 時 令和3年3月19日（金）19時から19時30分

場 所 備前市市民センター2階 講座室

出席者 56名／59名出席

傍聴人 2名

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 出席者自己紹介 席次表の配布で割愛
- 4 協議事項

(1)学校名の取り扱いについて

### 【学校名提案の経緯】

《教委事務局説明》

学校名の取り扱いについての幹事会でのこれまでの協議経緯について報告します。

(配布資料により説明)

### 統合準備委員会

統合後の学校名については、統合準備委員会で協議していくことが決定された。

(幹事会での議論を経て準備委員会へ提案という形で承認)

### 学校名について

#### ① 幹事会での協議

吉永中学校と三石中学校が統合するにあたっての統合後の中学校の名称については、「新しい校名」とするか「既存の中学校名」とするかで議論してきた。

- ・吉永とすれば、現在の校名の吉永中を引き継ぐ形がベストであり、校名変更は受け入れられない。
- ・三石とすれば、三石中の名にこだわってはいないが、新しい学校を作っていくということで、現在の学校名以外の校名にしてほしい。というのが主な意見。

#### ② 議論したが平行線

吉永、三石のそれぞれの意見が異なり、このまま協議を続けても平行線であり、調整することが困難な状況。

#### ③ 校名の決定に関わって、個人に責任を負うような形にしてほしくない。との意見を受け教育委員会が校名に関しての調整案を示してほしいことの提案が幹事会であり合意。

- ・個人に責任を負わせないという意味は、個人がこう言ったからこうなったということについて、「勝手に決めている。」とか「あの人がこういったからこうなった。」など個人の責任追及につながる恐れがあり、そういったことに陥るのを避けてもらいたいということ。

#### ④ 教育委員会が提案する事項に関しては協力することを確認し進めてきた。

## 共通認識

吉永中学校と三石中学校の統合に関して幹事会での共通認識

- ・統合は子どもたちのため。魅力ある新しい中学校を一緒に作っていく。
- ・校名のことで子どもたちが振り回されてはいけない。子どもたちが犠牲にならないようにしなければならない。
- ・統合にあたって校名のことでお互いにもめたくはない。もめて一緒になってもよくない。
- ・校名決定が原因で折り合いがつかず、統合自体がなくなるという事態はさけるべき。

これらのことが共通した認識であった。

## 校名検討

これまでの協議経緯を踏まえ、新しい校名、既存の校名（吉永中学校、三石中学校）の3案として検討する。

評価項目として

- ① 校名のもたらすイメージ・効果
- ② 校名についての市民の理解、納得
- ③ 校名決定にかかる学校運営への影響
- ④ 行政コスト

評価項目ごとに最高点だったものに備考欄に○をつけている。

- ① 効果イメージの項目については新しい校名
- ② 市民意識の項目については吉永中学校
- ③ 学校運営の項目については吉永中学校
- ④ 行政コストについては吉永中学校

## 学校名の評価

- ・「吉永中学校」が最も高く評価される。
- ・教育委員会としては、最も重視した項目は③学校運営であり、中学生の健全な成長を促す環境をスムーズに整えていくための評価の視点として、統合に要する時間、教育活動への影響、児童生徒への影響とした。

## 学校名の提案

- ・「吉永中学校」と「三石中学校」が統合して令和4年4月に開校する新しい中学校の校名は「備前市立吉永中学校」とする。ことを提案した。

## 評価後の教育委員会の見解

- ① 新しい学校の教育活動や学校生活の中で、統合前のそれぞれの学校の歴史や伝統が息づいているという実感を持つことが重要であり、そのための工夫を地域や学校ぐるみで行っていく必要がある。
- ② 新しい学校づくり、学校生活のスタートにあたり、生徒一人一人が自尊心を持ち、相手のことを認め合い、お互いに協力しながら学校生活を送ることが重要であり、校名の

ことでしこりが残るようなことがあってはならない。

- ③ 学校再編は子どもたちの教育環境を整備するために是非とも必要なこと。教育委員会では、統合に際し新たな学校づくりに向け全面的なサポートを行う。学校名のことで統合が頓挫することは、避けなければならない。

中学校の統合は子どもたちのため、是非進めさせてほしい。

最後に統合のメリットと中学校再編整備実施計画の前文をつけて、統合の必要性、是非ともお願いしたいということで説明させていただいた。

以上で経緯経過の説明とさせていただきます。

#### 《統合準備委員長》

教委育委員会が示した、校名は「吉永中学校」として新たなスタートを切るという提案に対して、三石地区統合準備委員会の方で、賛否の投票を実施しました。その結果について、報告と提案をいたします。

2月の幹事会で学校名を「吉永中学校」とする教育委員会の提案に対して三石地区統合準備委員会のメンバーで決定するのは責任が重すぎるということで三石地区の小学校、中学校の保護者を対象に、学校名「吉永中学校」を受け入れて、統合を円満に進める、学校名「吉永中学校」を受け入れることができないので、統合を白紙とする、という二者択一の投票を行いました。

結果は、

	賛成	反対
中学校	19票	11票
小学校	13票	24票
計	32票	35票

今回の投票結果をもとに学校名「吉永中学校」を受け入れることができないので統合を白紙とすることを三石地区の保護者の総意として今週16日の幹事会に提案し了承された。本日の統合準備委員会で統合を白紙とすることを提案し、これが了承されれば正式に教育委員会へ要望する方向で考えています。ご意見、ご質問はございませんか。

(質疑応答 なし)

今回、吉永の小学校、中学校のPTAの方にはいろいろお世話になりました。この統合に対して、協力しますよという姿勢でお話していただき感謝しています。このような結論を三石地区統合準備委員会から出すということに対して、本当に申し訳ない思いでいっぱいです。個人的には統合したかったが、その思いが届かなかった。三石地区は対等な統合という考えだったが、吉永地区の人にとっては学校名が変わるということは驚きであった。新しい学校をつくることのとらえ方に違いがあった。そのボタンの掛け違いが最後まで解消できなかった。今後、統合は残念ながら実現しませんが、部活動などで三石から吉永に行くような子どもがでてくるかもしれないのでサポートをお願いしたら、PTA会長さんは、そんなことは気

にしていなくて温かい声をかけてくれた。どうか、この統合が白紙になることによって三石地区と吉永地区が嫌な雰囲気にならないことを心から願っています。ボタンの掛け違いによって、こうゆうことが起こってしまったことを吉永地区に帰って保護者の方にも伝えてください。

それでは、意見、質問がありませんので三石地区統合準備委員会の提案を了承していただけますか。

(異議なく了承される)

《統合準備委員長》

事務局から今後のこの提案の取り扱いについて説明願います。

《教委事務局》

今後についてですが、先程、統合準備委員会で承認されたことを教育委員会会議に諮り、備前市立中学校再編整備実施計画(2校統合計画)の今後の方針・方向性について協議することになります。教育委員会会議で統合準備委員会での提案が了承されると、その日をもって三石中学校・吉永中学校統合準備委員会は正式に解散となります。設置要綱では令和4年3月31日限りでその効力を失ことになっていますが、教育委員会会議での承認日をもって三石中学校・吉永中学校統合準備委員会設置要綱が失効することをご承認ください。

(異議なく了承される)

## 5 その他

《教委事務局》

本日は、ご多忙の中、お集まりいただきありがとうございました。

事務局としては、子どもたちの教育環境を整えていくということで統合の必要性を説明してまいりましたが、結果的に保護者の皆さまにご理解していただくことができず残念です。事務局のこれまでの説明方法、進め方で誤解を招いたり、説明不足であったことに関しまして誠に申し訳なく思っています。

ただ、事務局としては子どもたちの教育環境を整えていくということで統合は必要であると今でも考えています。

今後、委員の皆様の意向を踏まえて、教育委員会会議に今日の結果を報告し検討されることとなります。

また、教育委員会会議での方針決定までは、統合準備委員会は中断ということになります。

今まで、統合準備委員会の皆様方には本当に貴重なお時間をいただき、統合に向けて、真剣・熱心にご協議、ご尽力いただきましたことに対しまして事務局一同感謝お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後の動向につきましては市のHP等で連絡しますのでご了承ください。

## 6 閉会